The METRO REPORT
NEW YORK • INDIA • KENYA • PHILIPPINES • ROMANIA • SOUTH AFRICA • PERU
メトロ・ワールド・チャイルド
ニュースレター
2021 年 2 月号
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン　東京都中央区銀座 4-5-1 教文館 6F TFC 内

何を持っていますか？

あなたの贈り物の驚くべき力！

緊急事態に直面し、とても手に負えないような必要に迫られると、私たちは神様に奇跡を求めます。多くの場合神様は、初めに私たちが何を持っているか調べさせます。5,000人もの人々に食べ物を準備しなければならなくなった弟子たちにイエス様が言われた時のように(マルコ 6:37-38)。ニューヨークでの40年以上にわたる活動を通して、メトロには、トラックやスタッフ、ボランティア、食料保管庫などの基盤がしっかりと築かれていたので、この緊急事態の中にいる人々の必要に応えることができたのです。私たちは、ニューヨーク市の地域食料配給拠点として、メトロの食料倉庫や9台の食料配給車を使って、この43週間で、約1,180トンもの食料を配給してきました。

最近ルシーダという、2人の幼い子どもをもつ失業中のシングルマザーに会いました。彼女は私たちの食糧配給倉庫に来て、家族のために食べ物を受け取ることができて非常に喜んでいました。「こんな状況じゃ、足りないでしょ？ だから、メトロの配給がなければずっと腹ぺこのままだったわ」。

メトロスタッフのひとりが、チャイナタウンにいる、メトロの教会学校に通っている家族のもとに食料品の箱を届けた時、母親は神様の慈しみとそのタイミングの素晴らしさに圧倒され、「今朝ちょうど赤ちゃんのミルクが底をついたところでした。でもこうして食べ物だけじゃなくミルクも届けてくださるなんて！」と大喜びしていました。

ブロンクスの向かいの町では、アンドレとジャスミンが、末の子どものオムツがとうとう無くなってしまったため、必要に迫られていました。彼らが働いていたレストランが閉店してからというもの、数ヶ月間も失業中だったのです。そんな時スタッフが食料品とオムツが入った箱を届けに来てくれたので、2人は本当に安堵したそうです。

型にはまらない“教会”

食料配給車は、数千人の大人や高齢者に福音と祈りを分かち合う機会を提供してきました。また、神の愛について学んでいる人たちも新しくボランティアに加わり、食料配給倉庫で働いてくれるようになりました。

メトロの道端日曜学校は、子どもたち向けのプログラムですが、どの地域でも毎週3,000から5,000人もの大人や若者が、メトロの道端教教会学校に参加させるために子どもを連れて来るのです。このコロナ禍で、直接会うことが難しくなったため、道端日曜学校をオンライン開催にしました。驚くことに、子どもと一緒にオンライン礼拝を観る大人たちの数が毎週増えているのです！ 最近はメトロの日曜学校に参加しなくなっていた年上の兄弟たちもオンラインを聞いていると知らせてくれました。現在失業中で家にいる父親たちまでも、メトロのオンライン学校中は、自然と話が耳に入ってくる状態です。何らかの理由で従来の教会に行かない人々にもこのような方法で神様は触れてくださっています。

次ページにつづく

イースターバスケット！

３月３日(水)が締切です。詳細は別紙をご覧ください。

再引き落とし開始！

２月スポンサー代の引き落とし日は２月 16 日(火)です。残高のご確認をお願いいたします。

今月号の目次

P2…ケニア・クリティカルのご紹介
P3…ケニアスタッフからの報告
P4…OHH のお礼
P5…イースターバスケット募集／今月のデボーション
P6…日本事務所からのお知らせ

何を持っていますか？

新しい日常

皆さんがコロナ禍前の日常生活に戻りたいと感じていらっしゃるように、ニューヨーク市の道端や、私たちのビルで、インド、ケニア、フィリピン、ルーマニア、南アフリカ、ペルー、コロンビア、ハイチ、そしてもっと他の国でも、日曜学校を再び行えるようになりたいと私たちは願っています。

皆様の祈りと心のこもった温かい捧げものを通して、皆様が私たちと共に立ち上がってくださっていることを、心から感謝しています。皆様の継続的なサポートは、さらに多くの子どもたちとその家族に祝福をもたらします！

あなたの祈りは変化を生み出します！

どうか共に祈ってください

- メトロの子どもたち全員が救われ、安全と健康が守られるように
- ビル師の行く先ごとに神様が力を与え、守ってくださいますように
- 世界中のメトロスタッフとインターン生の働きために
- メトロが特別な役割として担っている子どもたちと地域のニーズに応えるための必要が満たされるように
- 満足に食べることができない家庭の子どもたちの空腹が満たされ、幸せに暮らすことができるように

アーメン！感謝します。

食料品支援募集

アメリカ、フィリピン、ケニアへの食料品サポートを随時受付中です。

アメリカ…金額自由

フィリピン・ケニア…中セット（3,000円）・大セット（6,000円）
特大セット（9,000円）からお選びください

スポンサーでない方もお申し込みいただけます。

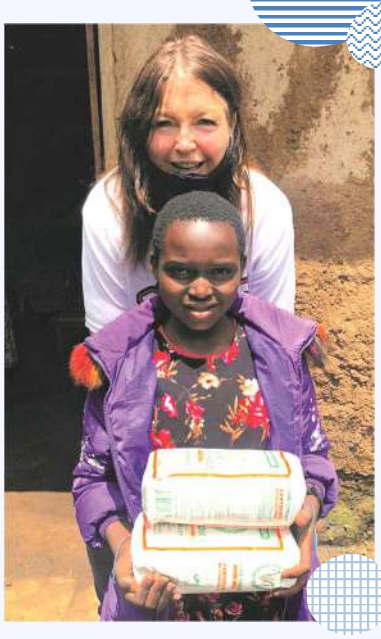
メトロ　食料品を贈る　検索

電　話 03-3561-0174　　メール metrojapan@mission.or.jp

ケニアでも実を結び続けています

Won by One（チャイルド・スポンサー制度）

あなたのご支援が命綱です



ケニアのメトロ日曜学校は2011年に開始して以来、公立小学校の中の授業の一部として、学校内で子どもたちに伝道を続けてきました。新型コロナウイルス感染症が広まる前は毎週11万5千人の子どもたちにイエス様を伝えていて、スポンサーの付いている子どもは、栄養価の高い学校給食を食べることができていました。中には、給食が一日一度の食事だという子どもたちもいました。

昨年夏に「**ケニア・クリティカル**」というスポンサー募集キャンペーンを始め、新たに2千人の方々がスポンサーになってくださいました。そして、それぞれの子どもに人生を変えるような影響をもたらしてくれています。ご支援のお陰でメトロでは、小麦粉、米、食用油などの必需品を子どもたちの家庭に届け、この危機的な時期を乗り切るための支援ができています。

しかし、このような緊急支援の必要に迫られている子どもたちが、まだ2千人以上いるのです。

ケニアスタッフからのレポート

メトロ・ケニアスタッフ
ジェニーンさん

昨年は特別な年になりました。学校は3月中旬に閉鎖しましたが、以前のように学校に食料やチケットを届ける代わりに各家庭に直接届けることができたことに感謝しています。地域社会にメトロの存在を知っていただくチャンスとなりましたし、繰り返し各家庭を訪問することで、人々と 1 対 1 で接し、より理解を深めることができたからです。多くの人々が「あなたが今日の命綱になってくれました」と言って涙を流しました。泣いている母親の横で「ママ、心配しないで、僕は日曜学校に行っているんだから。僕たちは神様を信じればいいんだよ」と言う子もいました。食料品を受け取って、喜びを大声で表現する子もいれば、走り回ってはしゃぐ子もいて、一人一人違う反応のそれぞれが素敵でした。また、一日キャンプを実施して素晴らしい成果を得られましたし、農家の人たちに燃料を届けて農業や彼らの生活を支えることもできました。学校は、昨年の秋には再開しています。

ここで一つ、ケニア・クリティカルの素晴らしい証しをお伝えします。ある日、スタッフリーダーから電話がありました。「大やけどを負った女の子がいます」と。その子は戸外で遊んでいて、お湯が沸騰している大鍋に頭から落ちたのだそうです。支援している人々は、私たちが使うような調理器具を持っていませんので、戸外で火を起こしてそこでお湯を沸かすのですが、近くで遊んでいた女の子がつまずいて頭からお湯の中に落ちたということでした。私はすぐに駆け付けました。頭から体までかなり広い範囲にやけどを負っていましたが、投薬でみるみるうちに快復したのには驚きました。この子はメトロで支援している子ではありませんが、会いに行くたびに彼女がきれいに治っていくのがわかります。その子の家で、「隣の家で赤ちゃんが生まれたので見てやってください」と言われたので行ってみると、生後3週間の男女の双子の赤ちゃんがいました。家にはお兄ちゃんのケビンという男の子もいたのですが、その子はスポンサーの支援を受けている子でした。神様のタイミングはなんと素晴らしいことかと思います。やけどした女の子のところに行かなければ、隣の家の双子の赤ちゃんやケビンの状況を知ることもなかったのですから。というのも、次の日、双子の一方の男の子が亡くなったという電話がかかってきたのです。食べる物がなく、母親自身が栄養失調で母乳が出なかったのが原因とのことでした。私は亡くなった赤ちゃんを抱きしめ、奇跡を求めて祈り、ただただ泣くばかりでしたが、その後、家族とともに埋葬の儀式を行いました。

10日後、私は二つの家族の様子を見に行きました。やけどを負った女の子の状態を確認し―それが右の写真ですが―、それから隣家に行って、ジョイと名付けられた双子のもうひとりの女の子を抱っこして祈りました。でも、そこで私は何か違和感を覚えました、胸騒ぎのような感覚を。そして翌日、電話があったのです。「ジョイも死にました」と。私はすぐに母親のもとへ行って、ジョイを抱いて共に泣き、祈りました。「みこころのままをなさってください。でも、どうか神様、この心の痛みを癒してください」と。

ケビンに、イエス様が亡くなった幼い弟と妹と共におられることや、命について語る機会を得られたのはよかったです。また、ケビンの祖母との関係にとっても。彼女は私に対して敵意を抱いていたのです。私が初めて訪問した翌日に男の子が亡くなり、次の訪問の翌日に女の子が亡くなったことで、何らかの霊的なものの仕業であるかのように感じたようです。しかし神様が働いてくださり、私は事情を説明する機会を得て、誤解だったことがわかった彼女は、私に謝罪してくれました。 **次ページにつづく**

でも今回の出来事で何と言っても素晴らしいと思ったことは、やけどを負った女の子の兄のリンカーンが、メトロの支援を受けていなかったことです。ケニアのメトロスタッフであるダニエラはちょうど、出身地のドイツの友人から、「切実に支援を求めている子を紹介してほしい」という問い合わせを受けていました。リンカーンの家族の住まいは粗末な掘っ立て小屋で、室内と屋外の境もなく庭に物が転がっているような状態です。まさに要望にピッタリだと思ったダニエラは、友人にこの話をし、リンカーンはすぐにスポンサーの支援を受けられることになったのです。

「ケニア・クリティカル」は、まさにクリティカル―極めて重要なものです。一日一日、ただ命をつなぐだけで必死の人々にとっては大きな助けですし、これは単なるプログラムではなく、生死を分ける働きなのです。

このような話は、私たちの働きの現場では日常茶飯事です。明日の午前中もまた、私は葬儀に行きます。メトロで支援していた10歳の女の子が、日曜日に親と一緒に教会から出てきたところで、スピード違反の車にはねられて亡くなったという悲報を聞いたばかりです。

そしてお昼には、別の10歳の女の子に会いに行きます。その幼さにして、既に子どもを産んでいるのです。詳しいことは分かりません。でも、ここでもケニア・クリティカルの働きは必要なのです。幼い女の子がレイプされたり、食べ物を買うお金のために自らを貶めたり、というケースもあるからです。

だから私たちは、そのような家族のために現場で働きを続けなければなりません。命について、人生について語りかけ、希望を与えなければなりません。そのような働きを実現させてくださる皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。この活動に参加してくださっているスポンサーの皆さんのお陰で、本当に多くの家族が助けられているのです。ありがとうございます。

メトロ スポンサー申し込み　検索

ケニア・クリティカル
(緊急里親募集)

メトロはキャンペーンの一環として、2020年夏から、「ケニア・クリティカル」に取り組んできました。2021年も、継続して取り組んでいきます。

このキャンペーン期間中に
日本事務所へのお申込みを通して
スポンサーに出会えた子どもの数　**85人**

（2020年7月1日から2021年1月31日まで）

任務 ビジョンを達成しました！
第25回　NYオペレーション・ホリデー・ホープ

昨年のニューヨークの緊急事態宣言下で迎えたクリスマスで、ひとりでも多くの子どもたちを笑顔にしたいと考えた私たちは、例年の倍、6万個のプレゼントをNYの子どもたちに渡すことを公言しました。この状況下でいきなり倍増とは、とても不可能と思える挑戦でした。

しかし、友であるあなたのあふれる愛のお陰で、最終的に65,141人の子どもたちが、きれいに包装されたクリスマスプレゼントを受け取ることができたのです！　ハレルヤ！　皆様に心から感謝いたします！

締切３月３日

イースターバスケット募集！

おもちゃやお菓子がいっぱい詰まったイースターバスケットを子どもたちに届けます。贈り物は、受け取った子どもの家族がメトロのスタッフに心を開くきっかけとなり、福音を伝えるための大きな手段となります。ひとりでも多くの子どもたちにバスケット持って訪問することができるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年のイースターは
４月４日！

キリスト教最大のお祝い、イースターがやってきます。私たちの罪のために死んでくださり、永遠の命を保証するためによみがえってくださったイエス様を伝えるために、イースターは最もふさわしい時です。

対象：アメリカの子ども
金額：１件 3,000円
締切：３月３日（水）

どなたでも
ご支援いただけます

メトロ イースター　検索

2021年2月　今月のデボーション　by ビル・ウィルソン

「私の最高のささげ物は隠れたささげ物」

残りの人生の全時間を私を助けてくれた人たちへの感謝に費やしたとしてもとても足りません。神は、ニューヨークをはじめ世界各地で活動する私たちの働きを支えてくださる偉大な人々をお与えくださいました。これまでの活動を通じて出会った中でも最も素晴らしい、心優しく謙虚な人たちです。

私たちを支えてくださる方々は、サポートを特別なことと捉えてはいません。イエスが自分にどうしてほしいと思っておられるかを心得えているようです。でもご存じでしょう、すべてのクリスチャンがそうとは限りません。何としても他人の注目を集めたいと願い、それを実現するために「自分の」お金を使う人もいます。意味が分かりませんが、どれほど教会に献金しているかを皆に言いふらしたりします。自分がどれほど犠牲を払っているか、什一献金をどれほど忠実にしているかを、周囲の人々に知ってもらいたくて仕方ないのです。

イエスは、与えることは私たちが隠れた所で行うべき「義なる行為」の一つであると明確に語っておられます。「貧しい人に施すときは自分の前でラッパを吹いてはいけません。それは偽善者が行うことだからです。」とイエスは言われ、さらに、「施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。 あなたの施しが隠れているためです。」と言われました。善行は黙って行い、あなたと神だけの秘密にしておきましょう。神はあなたの隠れたささげ物をご存じであり、そういうささげ物を愛されます。なぜなら、それが神へのものであり、神のためのものであり、他意のないことをご存じだからです。

もちろん、イエスへの隠れたささげ物をすれば、あなたは報いを受けるでしょう。しかし報酬がささげ物をする目的ではありません。ささげ物をするもっとも尊い理由は、それが愛と無私無欲の表れであることです…まさに神がそのひとり子を私たちに与えてくださった理由と同じです。しかもこの贈り物は隠す必要はありません！

多いか少ないかは問題ではありません。今、神に隠れたささげ物をしてください。神とあなただけが知るささげ物であれば、あなたにできる「最高の贈り物」をしたことをあなた自身も知ることになるでしょう。

あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。
あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、
隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

―マタイの福音書６章３～４節―

心をこめて
創立者・主任牧師 ビル・ウィルソン

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

再引き落とし開始！

先月号のレポートでお知らせした通り、2021年２月より、残高不足等で引き落としができなかった前月分の未払金を、口座より再引き落としさせていただきます。なお、再引き落としには手数料として１１０円を追加させていただきますので、ご了承ください。

未払金をお振り込みくださる場合は、同月２５日までにお願いします。２５日を過ぎてもお振り込み確認ができない場合は、再引き落とし手続きを開始いたしますので、ご注意ください。

再引き落としについての詳細は、先月号のレポートをご確認いただくか、以下のホームページアドレスをご覧ください。

metroworldchild.jp/2021/information/4151/

スポンサー募集！

昨年、ビル先生がニューヨークから出ることができないためにワールドツアーが中止となった時は、新規スポンサーを募ることが大変困難のように思えました。しかし、日本のスポンサーの皆様が積極的にメトロの活動をご紹介くださり、メトロのスポンサーとして、世界の子どもたちと共に歩むご決断をされた方が次々に与えられていきました。ご紹介くださった皆様、そして、道を備えてくださった神様に感謝します。

現在、日本事務所では HP からスポンサーのお申込みをしていただけます。ぜひお知り合いの方にメトロをご紹介ください。

メトロ　スポンサー申し込み　検索

手紙の翻訳について

お送りしています子どもからの手紙は、本部から送られてきたものを、間違いがないかチェックした上で皆様にお送りしています。

基本的には個人からの手紙やカードに翻訳をつけておりませんが、ご希望の方は、写メや FAX などでご希望の言語(日本語と韓国語)と共にお知らせいただきましたら、翻訳してお送りします。本来は、すべて翻訳してお送りすべきところですが、メトロの働きはすべてボランティアの協力で行っておりますので、手が行き届かず申し訳ございません。

毎回翻訳をご希望の場合もお知らせください。次回からは訳を同封してお送りします。日本語と韓国語のみご対応できます。

日本事務所よりごあいさつ！

皆さんお元気でしょうか。

昨年以来、新型コロナウイルスに対する決定的な打開策を見つけられないまま忍耐を強いられる日々が続いています。スポンサーの方々の中にも、苦しい状況の中を通らされている方々がいらっしゃることと思いますが、そのような中でもご支援を続けてくださっていることを心から感謝しています。

各国のメトロスタッフも、文字通り死と隣り合わせの人々を救うために、働きの方法も変化、拡大し、今まで以上に多忙な日々を送っています。その中で、皆様のご支援と祈りの尊さを痛感する日々です。

スタッフ一同、皆様の健康が守られ、精神的にも解放され、経済面も祝福されて、平安に暮らすことができますようお祈りしています。

日本事務所代表　万代栄嗣(まんだい えいじ)

メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地　〒104-0061
東京都中央区銀座 4-5-1
教文館６階　ＴＦＣ内
電　話 03-3561-0174
ＦＡＸ 089-925-1501
メール metrojapan@mission.or.jp
URL　https://metroworldchild.jp/

すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。
ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 ００４１６１０
郵便局：記号番号 ０１６５０-３-４１６１０
口座名義はどちらも同じ
メトロ･ワールド･チャイルド･ジャパン